



プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、シンポジウム「東京電力福島第一原子力発電所の廃炉―第4回：確実な廃炉のために今すべきこと―」開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内

『東京電力福島第一原子力発電所の廃炉―第4回：確実な廃炉のために今すべきこと―』

2011年3月11日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故から8年が経とうとしています。福島第一事故炉の廃炉作業は、2021年内には主要な汚染源である燃料デブリの格納容器の中からの取り出しに取り掛かる計画であり、2019年度内には工法を確定することとなっております。これは、世界でも初めての取り組みであり、様々な課題をもたらしています。

福島第一原子力発電所廃炉検討委員会では、この廃炉作業で解決しなければならない重要な課題の解決に向けて、当学会の総力を挙げ、持てる技術力をすべて提供し、他の学協会とも連携して取り組んでまいりました。今年で第4回目となる本シンポジウムでは、廃炉での「解決しなければならない課題」のいくつかについて、当委員会が定期的に行ってきたワークショップでの議論などから得られた成果をご紹介します。問題点を共有するとともに、幅広く課題解決に向けた取り組みを進めるために、皆様からのご意見をいただき、今後の廃炉事業の課題への取り組みに役立てたいと考えるものです。

日時：2019年3月9日(土) 13:30～17:00 (受付：12:30～)

場所：機械振興会館 B2F 多目的ホール (東京都港区芝公園3丁目5-8)

アクセス：<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

主催：(一社)日本原子力学会・福島第一原子力発電所廃炉検討委員会

共催：福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会

協賛：日本地震工学会、日本機械学会、日本原子力研究開発機構

参加費：無料

プログラム

【座長】 関村 直人 (廃炉検討委員会副委員長・東京大学)

開会の挨拶 駒野 康男 (日本原子力学会会長・MHI NSエンジニアリング)

講演 1：事故炉の廃炉の全工程とホールドポイント 宮野 廣 (廃炉検討委員会委員長・法政大学)

講演 2：事故炉の安全確保と管理目標 山本 章夫 (WS主査・名古屋大学)

講演 3：廃炉とサイト修復の最終の姿に向けた廃棄物の取り扱い 柳原 敏 (WS主査・福井大学)

講演 4：自然現象に対する事故炉の安全性評価 糸井 達哉 (WS主査・東京大学)

講演 5：新技術への挑戦―国の補助事業による研究開発 松本 昌昭 (廃炉・汚染水対策事業事務局・三菱総合研究所)

講演 6：国際協力への提案 岡本 孝司 (JAEA/CLADS長・東京大学)

質疑対応 関村 直人 (廃炉検討委員会副委員長・東京大学)

閉会の挨拶 宮野 廣 (廃炉検討委員会委員長・法政大学)

以上

本件に関する取材等お問合せ先: 日本原子力学会事務局
TEL: 03-3508-1261 / E-mail: hairo@aesj.or.jp